

### 三加和中が起業体験に

### チャレンジする理由

～この取組に込めた願い～

本校で新たなチャレンジとして起業体験学習に取り組むことには、次のような願いが込められています。

- ①利益を出す楽しさを味わうことで、チャレンジ精神を持ってほしい。
- ②利益を生み出す大変さを経験することで、お金の大切さと、家計を支えてくれる家族に感謝する気持ちを持ってほしい。
- ③ふるさと三加和にとって千載一遇のチャンスである「金栗マラソン大会」をみんなで盛り上げることで、地域の活性化に目を向けてほしい。
- ④この取組を通して、様々な人と関わる中で、自分のよさや苦手な部分に気づいて、将来の自分らしい生き方を考えるきっかけにしてほしい。

# 起業体験、始動!

## 新たなチャレンジにみんな?ワクワク(少なくとも校長はワクワクです)

# 三加和中 里山だより

和水町立学校  
三加和中(和水町板橋1001)

文責：益崎

4月の授業参観でのお話の際に簡単に触れましたが、子どもたちに将来を力強く生き抜くたくましさや身につけさせるきっかけを作るため、本校の新たなチャレンジとして、起業体験に取り組みます。

## 実際に会社を作って事業を展開

「この聞き慣れない『起業体験』とは、いったいどんなものなのでしょう。さっくり言えば、『会社をたちあげ、資金を調達して、それを元手にモノやサービスを売って、利益を得る』という一連の経済活動を実際に体験することで、将来に役立てるための学習です。今や産業界では、会社から与えられた仕事をやるだけの人材ではなく、新たな事業を立ち上げることでできる人材こそが求められています。現実には、現在多くの学生を含む若者がアイディアと行動力を武器に起業家として活躍しています。

しかしながら、本校の起業体験の取組は、起業家として自ら会社を設立して経営者になる人を作り出すことだけを目的にしているものではありません。会社や公務員の一員として、また町づくりを担う地域のリーダーとして新規の事業を立ち上げたり、さらには新たな農業の担い手としてアイディアを生かした独創的な事業を展開することのできる人材を幅広く育成していくことというものです。

## 東京証券取引所の協力を得て、活動開始!

今回の起業体験は、東京証券取引所からの協力もいただきながら進めています。去る五月二十八日の4・5校時、東京証券取引所(東証)金融リテラシーサポート部長の斎藤様をお迎えして、今回の取組について説明していただき、いよいよ活動を開始しました。

これから生徒たちは、次のような流れで取組を進めていくこととなります。

各学年ごとに2つのグループ



東証スタッフからレクチャーを受ける生徒たち

授業参観では、それぞれの会社から保護者の皆さんに対してプレゼンテーションを行い出資をお願いいたします。保護者の皆様には、もし可能であれば、有望だと思われる会社に出資いただけたいと思います。当然ですが、出資金額はもとより、出資するかどうかにも自由です。

今回のルールではそれぞれの

**そもそも、なぜ三加和中で起業体験なのか?**

三加和中の最大の特徴は、他のどの中学校よりも小規模の学校であるということです。これは、とても恵まれた環境であると同時に、裏を返せば最大の弱点でもあります。

三加和中の最大の特色は、他のどの中学校よりも小規模の学校であるということです。これは、とても恵まれた環境であると同時に、裏を返せば最大の弱点でもあります。

でもあります。日常生活の中で、接する人の数は他校生徒と比べて圧倒的に少ないのが現状です。生徒の中には、わかり合える集団の中に長期間いること

で、自分の考えや思いを改めて言葉に出してきちんと伝えることを苦手としている者が多くいます。また、競争の中で自分を鍛え、可能性を伸ばすチャンスに恵まれていません。

起業体験に取り組む

中では、多くの新しい出会いを体験することで、将来避けて通ることのできない経済活動の競争原理を体験します。今の三加和中生徒にとって、多くの貴重な学びができることを信じています。

## 販売は秋、えっ御期待!

販売活動の舞台は十一月四日に実施される金栗マラソン大会の会場です。また、金栗マラソン当日のシミュレーションとして、十月二十日の文化発表会で事前販売を行う予定です。保護者や地域の皆様のご参加とご協力をお願いします。

(生徒数の減少とも相まって、本年度からの文化発表会は、これまでと形を変えて実施する予定です。)

販売終了後は、株式会社を解散するための「決算および監査」と「株主総会」を実施します。最終的に、出資された資本の額に対する収益率が最も高かった会社が優勝となります。